

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			26年度				27年度				28年度						
			短期	中期	長期	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性
			～29年度	～31年度	～35年度															
①地域コミュニティの増進、 活力のあるまちづくり		地域生活拠点の整備 【生活基盤の充実】 【工業の振興】	○青谷憩いの場整備等	○青谷憩いの場整備等		青谷憩いの場整備工事 青谷憩いの場設計業務	35,900	24,471	達成	継続	福井田川親水護岸設計業務 旧中央公民館解体設計業務	10,300	5,999	達成	継続	福井田川親水護岸整備工事 中央公民館解体工事等 排水ポンプ設計業務 青谷駅前広場設計業務	57,332	53,332	達成	継続
			○JR駅前広場周辺整備等	○JR駅前広場周辺整備等																
			○企業誘致	○企業誘致	○企業誘致															
		地域活性化イベントの再構築	○鳥取市西いなば地域振興グランドデザインとの連携 ○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着	○青谷町外からの集客を目指すイベントの定着	現状把握・見直し検討、関係機関等との協議	3,701	3,695	達成	継続	各種イベントを大幅に見直し、地域資源、賑わいの創出を主眼とした取り組みへの方向転換を推進した。	3,701	3,677	達成	継続	和紙産地強化事業 「因州和紙フォーラム」を10/15にとりぎん文化会館で開催し、因州和紙の価値を再認識しながら、その進むべき方向などの意見発表等を実施した。 「因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭」を11/20に和紙の里青谷町日置地区で開催し、和紙産地の活性化を図った。 「手すき和紙保存事業」として、伝統技術の保存・継承に向けた取り組みを行った。 青谷ようこそ市場「あおいち」事業 6月～11月まで毎月1回計6回実施、バザーやイベントを実施した。まちなか周遊も大学生の企画として取り入れるなど、新たな展開を図った。	3,016	3,016	達成	継続
地域コミュニティの充実 【協働のまちづくりの推進】	○各地区のまちづくりリーダーの発掘 ○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○まちづくりリーダーの発掘・育成 ○まちづくり団体の育成						まちづくりリーダーの発掘、新たな若者団体の育成に繋げるため、地域振興特定予算の見直しを行った。			達成	継続	元気塾13団体、個人10名が開催された8回の講座にそれぞれ参加した。また、井手ヶ浜で交流講座サンセットコンサートを開催するなどの動きが出ている。このような状況のさらなる浸透を図り、新たなまちづくりリーダーの発掘に繋げていく。			達成	継続		
①「卓球のまち青谷」の復活 ②国際交流事業の継続・拡大 ③保育所、小中高との連携強化 【教育の充実】 【教育の充実・郷土愛の醸成】 【スポーツ・レクリエーションの振興】 【ピジットとっりの展開】 【交流拠点の魅力創出】	○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参画 ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等) ○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○国際交流イベントの推進	○郷土愛を育む事業(青谷再発見、子どもガイド養成) ○留学生の受け入れ ○人材育成(通訳等)	○郷土愛を育む事業・青谷高等学校の青谷学への事業協力 ・小・中・高校生のイベント等への参画	12月、青谷高等学校存続に向けた組織「青谷高等学校のあり方を考える協議会」を立ち上げた。 市及び青谷高等学校の共催事業である「日中韓高校生国際シンポジウム」を開催し、国際交流の意識を高めた。	677	409	達成	継続	「卓球のまち青谷復活」に向け、8月に高校卓球部員による卓球教室を開催した。 近府県の中学校の参加による「第1回青谷オープン卓球大会」を開催し、地域、高校一体となって取り組んだ。 市及び青谷高等学校の共催事業である「日中韓高校生国際シンポジウム」を開催し、国際交流の意識を高めた。 青谷高校生と地域の繋がりを強めるため、各種イベント等への参画を行った。	500	500	達成	継続	青谷高等学校の平成28年度の入学者が激減したことを受け、コーディネーターの設置に向けた視察等を行った。 2回目となる、高校卓球部員による卓球教室を9月18日にトレーニングセンターで開催した。 第2回青谷オープン卓球大会を11月12日・13日、トレーニングセンターで開催した。昨年より参加チーム数も増え、また、大会の存在も県内外に広まりつつある。 「日中韓高校生国際交流事業」を9/13～15に青谷高等学校ほかで実施し、中国、韓国の高校生と青谷高校生が交流した。	500	500	達成	継続		
											884	692				813	576			

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			26年度				27年度				28年度															
			短期	中期	長期	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性									
			～29年度	～31年度	～35年度																								
②地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり	歴史的資源・自然的資源・農産物を含む地場産業・文化的資源などを道の駅を核として有効活用した取り組みを進めることが、中山間地域対策に重要であり、住民が誇れるまち・魅力あるまちをめざし交流人口の拡大を図る。	地場産業の育成 【農林水産業の振興】 【デジタルととりの展開】	○地場産業の現状把握	○地場産業の現状把握		生産品目・出荷量調査 ・農産物・加工品等 ・因州和紙 農業公社を中心とした市場調査と販売網の拡充 ・都市交流(池田市) ・ふるさと納税 JA農業施策 担い手育成と後継者の確保					生産品目・出荷量調査 ・農産物・加工品等 ・因州和紙 農業公社を中心とした市場調査と販売網の拡充 ・都市交流(池田市) ・ふるさと納税 JA農業施策 担い手育成と後継者の確保					市民活動を通じた特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR ・8/2 池田市表訪問 (農業公社、農業者、支所) ・8/27池田市民カーニバル (農業公社、支所) ・11/19～20池田市農業祭 (公社、農業者など計6名)					達成	継続							
			○特産品の販路拡大	○特産品の販路拡大																									
			○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保																								
			○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大		夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	194	194	達成		継続	漁村地域交流人口の拡大 ・PR活動 ・開催日数の増加	200	200		達成	継続	夏泊町定置網朝市のPR ・あいちなどの町内各イベントに参加し夏泊定置をPR ・地元住民のSNS発信支援 ・地区公民館料理教室に参加し魚食普及促進(1月)									達成	継続
			○ジオ関連ガイドの養成 ○ガイド団体の設立	○ガイド団体が中心となって、青谷町内のジオサイトや歴史文化を案内できるガイドの養成を図る。 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定	○ガイド団体が中心となって、青谷町内のジオサイトや歴史文化を案内できるガイドの養成を図る。 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定		○ガイド団体が中心となって、青谷町内のジオサイトや歴史文化を案内できるガイドの養成を図る。 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定								H28.3 青谷町ガイドネットワーク設立				達成	継続	青谷町ガイドネットワーク ・例会の開催 ・11/27青谷地域「魅力・輝き」発見発信ツアーを実施した ・9/17勝部地区モニターツアーに協力した。	90	90	達成	継続				
③安心・安全なまちづくり	各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取り組みを図る。	自主防災組織の充実と連携 【地域防災力の充実】 【地域防災力の向上】	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の育成	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の設立	青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の支援	2,000	1,662	達成	継続	青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の支援	2,000	1,997	達成	継続	青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の支援	2,000	1,887	達成	継続									
			○情報板等の検討・整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備																									
			○情報板等の検討・整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備																									
③安心・安全なまちづくり	各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取り組みを図る。	自主防災組織の充実と連携 【地域防災力の充実】 【地域防災力の向上】	○自主防災組織の体制整備・連携	○自主防災組織の体制整備・連携 ○自主防災組織の体制整備。 ○自主防災組織訓練の高度化の検討	○自主防災組織の体制整備・連携 ○自主防災組織の体制整備。 ○自主防災組織訓練の高度化の検討	市補助事業の活用 防災資機材整備補助金(H28まで) 6 自主防災会実施	500	335	達成	継続	市補助事業の活用 防災資機材整備補助金(H28まで) 11 自主防災会実施	500	417	達成	継続	市補助事業の活用 防災資機材整備補助金(H28まで) 12 自主防災会実施	500	585	達成	継続									
			○制度の啓発及び地域との連携	○制度の啓発及び地域との連携 ○制度の啓発と本事業における地域の役割について地域の理解を深める。	○制度の啓発及び地域との連携 ○制度の啓発と本事業における地域の役割について地域の理解を深める。	未取組地区の解消(日置谷、中郷) 地区からの要望により説明会を開催																							
			○制度の啓発及び地域との連携	○制度の啓発及び地域との連携 ○制度の啓発と本事業における地域の役割について地域の理解を深める。	○制度の啓発及び地域との連携 ○制度の啓発と本事業における地域の役割について地域の理解を深める。	事業の啓発(広報及び説明会の開催)																							
③安心・安全なまちづくり	各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取り組みを図る。	ひとり暮らしの高齢者世帯へ「安心ホットライン」設置啓発	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。																								
			○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。																								
③安心・安全なまちづくり	各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取り組みを図る。	高齢者・障がい者等を地域で見守り支え合うネットワークづくり	○青谷町住民の健康・福祉の現状を地域住民へ伝える。	○青谷町住民の健康・福祉の現状について、地域住民の理解を深め、改善のための気づきを促す。	○青谷町住民の健康・福祉の充実のために、地域住民と協働してできることを話し合う。																								
			○青谷町住民の健康・福祉の現状を地域住民へ伝える。	○青谷町住民の健康・福祉の現状について、地域住民の理解を深め、改善のための気づきを促す。	○青谷町住民の健康・福祉の充実のために、地域住民と協働してできることを話し合う。																								

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	29年度				短期(～29年度)における総括				30年度				備考	担当課
			実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性		
①地域コミュニティの増進、 活力のあるまちづくり	①青谷地区を中心としたコンパクトなまちづくりを進め、賑いや賑わいの空間を創出する。 ②全体的に人口が減少し高齢化が進む状況の中、各地区公民館は地区の特性を活かした事業に取り組んでいく。 ③青谷高等学校は、特色のある取り組みや地域との繋がりが強化に取り組む。	地域生活拠点の整備 【生活基盤の充実】 【工業の振興】	・青谷中央広場(仮称)整備事業(旧青谷中央公民館(講堂)解体工事) ・JR青谷駅前広場整備事業(工事) ・JR青谷駅前バス待合所整備事業(設計業務) ・排水ポンプ増設事業(用地買収)	74,571	決算見込額51,455 + 次年度繰越額 13,366	達成	継続	広場測量設計を完了。 旧公民館及び講堂の解体撤去を完了。  公園又は、コミュニティ広場として利用するのかが検討が必要。 広場の維持管理について検討する必要あり。	・青谷中央広場整備事業	91,000					H30年度で整備完了予定	都市企画課 青谷町総合支所
		・広場測量設計業務を完了。 ・バス待合所建築設計を完了。 ・駐在所の解体撤去を完了。					・バス待合所の有効的な活用を検討する必要がある。	・JR青谷駅前広場整備事業 ・JR青谷駅前バス待合所整備事業						H30年度で整備完了予定	都市企画課 青谷町総合支所	
		誘致に向けて検討していく。					継続	西部地域三町で候補地をピックアップし、工業団地造成における諸課題に対する関係課の意見聴取を行いながら、候補地を検討している。企業立地・支援課と連携し、企業誘致に努めている。	西部三町で工業団地設置における諸課題を検討し、候補地の検討に努める。	西部三町で工業団地設置における諸課題を検討し、候補地の検討に努める。						企業立地・支援課 青谷町総合支所
		地域活性化イベントの再構築	伝統産業である因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした定期開催イベントに取り組んだ。 ・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭(11/19)、手すき和紙伝統技術の保存、継承事業ほか ・青谷ようこそ市場(通称:「あおいち」)開催6回(6/4、7/2、8/11、9/3、10/1、12/15) 事業場所:青谷町駅前 通称:青谷賑わい広場(青谷ようこそ館前)及び夏泊漁港	3,016	2,925	達成	継続	因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭・和紙イベントをとおして因州和紙をPRし、地区住民あげての日置地区の農産物販売や食のパザール等で和紙産地の魅力を発信した。  青谷ようこそ市場 ・青谷ようこそ市場は、支所が事務局となっており、参加団体の認識が低かったが、H29年度より各回の担当団体を決め、自主性を高める試みを実施。一定の効果があったと判断。 ・1年目のH28年度より2年目のH29年度は来場者増。	因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭 ・因州和紙は、地域の地場産業であるとともに、鳥取県を代表する伝統工芸品であることから、いかにその魅力を発信し、集客するか、企画内容、PR方法を検討する必要あり。	伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的としたイベントを開催予定。 ・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭を開催予定。 ・青谷ようこそ市場を6回開催予定。	2,850					
地域コミュニティの充実 【協働のまちづくりの推進】	元気塾の各講座に団体・個人の参加呼びかけを行い、各団体・個人からそれぞれ参加があった。 各地区のまちづくりリーダーの新たな発掘までは至らなかった。			一部達成	継続	・新たな団体や地域づくりリーダーの育成に繋がりがたかった。	・ふるさと元気塾に頼るばかりではなく地域の元気を抄出するためには、地域での取り組みが必要であるという意識をもつためのワークショップ等の地道な取り組みが必要	・地域づくり団体の連携強化							協働推進課 青谷町総合支所 各地区まちづくり協議会	
①「卓球のまち青谷」の復活 ②国際交流事業の継続・拡大 ③保育所、小中高との連携強化	【教育の充実】 【教育の充実・郷土愛の醸成】 【スポーツ・レクリエーションの振興】 【デジタルととりの展開】 【交流拠点の魅力創出】	「青谷高等学校のあり方を考える協議会」に代わる新たな組織「青谷高等学校活性化を支援する会」を立ち上げ、地域との連携を強化し、魅力アップを目指した。  3回目となる、高校卓球部員による卓球教室を8月27日トレーニングセンターで開催した  第3回青谷オープン卓球大会を11/18・19に開催。県中体連をあげて大会参加協力があるなど、大会の存在も県内外に広まってきた。  韓国居昌中央高等学校との相互交流等による学校間交流を実施。(青谷高校事業・予算)	500	500	達成	継続	①「卓球のまち青谷」の復活 ・卓球教室・青谷オープン卓球などを通して一定の成果があったものと考え。 ②国際交流事業 ・交流先の自治体の考えにも影響され、中国太倉市との交流は縮小状況。 ・青谷高等学校も交流先を韓国居昌中央高等学校と限定し、国際交流事業は縮小傾向。 ③保育所、小中高との連携強化 ・地域創造学校等の取り組みで保育所、小中の連携が図られた。 ・青谷高等学校の活性化を支援する金が平成29年度結成されたことにより今後の地域との連携が期待できる。	①「卓球のまち青谷」の復活 ・今後も事業継続するが、住民への啓発を模索した。 ②国際交流事業 ・合併後、取り巻く環境が変化し、状況に応じた取り組み方向性の検討を要する。 ③保育所、小中高校との連携強化 ・連携は図られている。 ・青谷高等学校については、支援する会を通じ、より地域と連携し、青谷高等学校の独自性を高める取り組みに協力していく。	①「卓球のまち青谷」の復活 ・青谷高校卓球部員による第4回卓球教室を実施 ・第4回青谷オープン卓球を開催 ②国際交流事業 ・韓国居昌中央高等学校と青谷高等学校との学校間交流を実施。 ・国際交流協会による交流事業の実施 ③保育所、小中高との連携強化 ・地域創造学校等の取り組み継続 ・青谷高等学校の活性化を支援する会の活動強化	400						青谷町総合支所

青谷町総合支所「鳥取市新市場振興ビジョン」推進計画 進捗チェック表

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	29年度				短期(～29年度)における総括				30年度				備考	担当課
			実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	成果(何をどれた)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性		
②地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり	歴史的資源・自然的資源・農産物を含む地場産業・文化的資源などを道の駅を核として有効活用した取り組みを進めることが、中山間地域対策に重要であり、住民が誇れるまち・魅力あるまちをめざし交流人口の拡大を図る。	地場産業の育成 【農林水産業の振興】 【ビジットとつとりの展開】	市民活動を通し特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR ・8/26池田市民カーニバル(農業公社、支所) ・11/18～19池田市農業祭(公社、農業者、支所) ・池田市ふるさと納税の謝礼品に利用 ・池田ダイハツ工業生活協同組合の特産物販売			達成	継続	市民活動を通し、特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR。 市民活動を通しさらなる特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR。 ダイハツ工業生活協同組合の特産物の販売、取引も引き続き行っていく。	市民活動を通し特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR ・池田市民カーニバル(農業公社、支所) ・池田市農業祭(公社、農業者、支所) ・池田市ふるさと納税の謝礼品に利用 ・池田ダイハツ工業生活協同組合の特産物販売	100					経済・雇用戦略課 農業振興課 青谷町総合支所	
			就農舎を中心とした担い手育成。 研修生2名が就農の研修中。 H30年度に経営継承で就農予定。就農について関係機関の協力により育成指導中。			達成	継続	就農舎を中心とした担い手育成。現在、研修生2名が就農の研修中。 H30年度に経営継承で就農予定。就農について関係機関の協力により育成指導中。	担い手育成と後継者の確保	就農舎を中心とした担い手育成。 研修生2名が就農の研修中。 H30年度に経営継承で就農予定。就農について関係機関の協力により育成指導中。						農業振興課 農業委員会 青谷町総合支所
			夏泊定置網朝市の継続実施及びあおいちや各地区イベントへの参加でPR活動を実施する。			達成	継続	例年に比べ時化等の影響もあり漁の回数は減ったが昨年並みの実績はあった。	町内外の人への定置網漁及び朝市の認知度を上げる必要がある。	夏泊朝市の開催とおお市の連携						林務水産課 青谷町総合支所
			青谷町ガイドネットワーク ・例会の開催により情報共有を図った。 ・青谷町ガイドマップの作製 ・2/17青谷地域「魅力・輝き」発見発掘ツアーを実施。	90	44	達成 見込み	継続	・ガイド団体の設立はできた。 ・町内ツアーのモデルコース	単発事業のみでなく、新規ガイド養成に繋げる必要がある。	青谷上寺地遺跡活性化事業(上寺地史跡公園広域振興団)設立に向けた取り組み						鳥取砂丘・ジオパーク推進課 青谷町総合支所
③安心・安全なまちづくり	各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取り組みを図る。	歴史的資源等を磨き上げ交流人口を増加 【文化財の保存・活用】 【文化財の整備・保存・活用】 【ビジットとつとりの展開】 【滞在型観光の推進】	青谷上寺地遺跡保存活用協議会の支援	2,000	1,800	達成	継続	青谷上寺地遺跡保存活用協議会への支援が主な活動であったが、活動内容がマンネリ化し、参加者や協力者が増える状況ではなかった。	史跡公園整備がH31年度から開始されるのあたり、既存団体の青谷上寺地遺跡を守る会以外の新たな協力の参画を図る必要がある。						文化財課 青谷町総合支所	
			JR青谷駅前整備に合わせ、観光案内板等の設置を検討する。				継続	JR青谷駅前整備に合わせ、観光案内板等の設置を検討した。	JR青谷駅前広場整備事業30年度に伴い、JR青谷駅前観光案内版の移設整備を行う。	JR青谷駅前観光案内版の移設整備						
			・青谷再発見ツアー 5/18実施(18人参加) ・こばしまウォーキング 11/3実施(99人参加)	7	0	達成	縮小	こばしまウォーキングは、地域の歴史認識を深めるというより、ウォーキングに重点を置いた内容であり、近年のウォーキングブームもあり参加者は多い。青谷町を知っていただく効果ありと判断している。	青谷再発見ツアーの内容の見直しを検討し、町内ガイド養成を兼ねる内容としたい。	・青谷町再発見ツアーの実施 ・こばしまウォーキングの実施						文化財課 青谷町総合支所
③安心・安全なまちづくり	各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取り組みを図る。	自主防災組織の充実と連携 【地域防災力の充実】 【地域防災力の向上】	市補助事業延長(H29まで)防災資機材整備補助金10自主防災会実施(未実施3)	650	481	達成	廃止	・自主防災組織の資機材整備補助事業を活用して資機材の充実を図ることができた。 ・訓練実施の自主防災組織数が増えた。	訓練を実施している自主防災組織は多いが、ほぼ消火訓練であり、地震や水害の場合に対応した訓練実施も図りたい。	・自主防災組織の訓練促進 ・自主防災組織へ避難訓練内容例の提示及び派遣 ・鳥取市防災訓練(青谷会場)					危機管理課 青谷町総合支所	
			避難行動要支援者支援制度への登録啓発(新規登録、追加登録依頼を実施)			達成	継続	登録者数408名	この制度は共助があっても効果を出すものだが、制度内容が必ずしも理解されていない。制度内容の理解促進が急務。	・制度の内容理解促進 ・登録促進啓発 ・青谷町自治連合会研修会で制度説明を実施 ・民生委員へ制度説明と担当地区への啓発を依頼。					危機管理課 地域福祉課 青谷町総合支所	
			ひとり暮らしの高齢者世帯へ「安心ホットライン」設置啓発			達成	継続	利用者数31名	制度について、幅広く周知する。	・青谷町自治連合会研修会で制度の説明を実施。 ・民生委員へ制度説明と担当地区への啓発を依頼。					危機管理課 長寿社会課 青谷町総合支所	
			高齢者・障がい者等を地域で見守り支え合うネットワークづくり			達成	継続	・健康教育(グループワーク含む)【6回】を実施し、健康に対する意識づくりを図ることができた。 ・青谷地域振興会議においても、青谷地域の現状を共有し、地域支援の必要性について感じてもらった。	・様々な機会を捉えて、ネットワーク構築のための土壌づくりを促進していく。	・青谷地域の健康・福祉の現状について、健康教育等を実施することにより地域住民の理解を深め、改善のための気づきを促す。 ・民生委員や福祉事業所等との連携					青谷町総合支所 西地域包括支援センター	